

事業紹介・事業報告

「第23回技術研究発表会」の報告



沼尻恵子

情報・企画部
上席主任研究員

1. 開催概要

平成21年7月17日（金）に、第23回となる技術研究発表会を、東京都港区虎ノ門パストラルにおいて開催した。以下にその概要を報告する。

1.1 開催の概要

技術研究発表会は、JICEの公益事業の一環として、調査・研究の成果を広く一般の方々へ紹介することを目的として実施している。

発表プログラムは、次頁の通りであり、特別講演や10課題について発表を行った。

当日は、国や地方公共団体、公益法人、民間会社等から、約300名の参加があり、会場からも活発な質問がなされた。

1.2 特別講演及び発表された課題

特別講演は、大学における研究のみに留まらずNPO法人において実践的な活動をされている立命館大学の土岐憲三教授をお招きして『社会基盤と文化遺産』と題して行っていただいた。

講演では、社会基盤であるインフラストラクチャーには、文化財や歴史的建造物、伝統的な街並みといった人間の精神的活動の所産を含むべきであり、その文化遺産を消失しないための防災の重要性についてご提言頂くとともに、最新の防災対策等の取組について非常に興味深いお話を頂いた。詳細は本JICE REPORTの巻頭に掲載しているので、是非ご一読頂きたい。

JICE職員が発表した10課題では、自主研究による先進的な成果や、JICEが受託した調査研究成果をもとに独自の視点を取り入れた課題について発表された。これら発表課題に関する論文は、JICEのホームページにアップし、またいくつかは本JICE REPORTに掲載しているので、ご参照頂きたい。

次回第24回技術研究発表会は、平成22年7月9日（金）ニッショーホールにて予定している。開催の案内、参加の受付等は、ホームページに掲載予定である。

皆様のご来場をお待ちしております。



写真 課題発表の様子（会場）



写真 JICEの事業を紹介するパネル展示（ロビー）

【2. 第23回技術研究発表会プログラム】

挨拶		理事長 大石 久和
JICE 事業概要	ICE が目指している「政策提言集団」について	理 事 藤本 保
特別講演	「社会基盤と文化遺産」	立命館大学教授 土岐 憲三氏
人・もの・情報が効率的に通い合える国土	地域の実情に応じた道路構造令の弾力的運用について	道路政策グループ ○丸山 大輔（上席主任研究員） 高松 良行、大住 道生、野平 勝
	自律移動支援プロジェクトにおける取組みと今後の展開について	道路政策グループ ○林 隆史（ITS 企画推進室・自律移動支援プロジェクト推進チーム 首席研究員） 森谷 進也、荒木 一司
	機械式自動二輪車駐車施設の技術基準策定について	都市・住宅・地域政策グループ ○漆間 誠一（主任研究員）
	河川技術の普及・向上に向けた JICE の新たな取組み（自主研究）	河川政策グループ ○岡安 徹也（防災・危機管理チームリーダー）
安全に安心して暮らせる国土	河川管理のあり方について	河川政策グループ ○仲村 学（上席主任研究員） 桑島 偉倫、柳澤 修
	社会的に求められる新たな機能を考慮した水門の設計手法の取組み	河川政策グループ ○柳澤 修（上席主任研究員） 今井 武雄
心豊かに暮らせる快適で美しい国土	知的障害者、精神障害者、発達障害者に対応したバリアフリー化施策について	情報・企画部 ○沼尻 恵子（上席主任研究員） 林 隆史、藤村 万里子
効果的・効率的な国土づくり	建設コスト縮減施策の成果と日米価格差の長期トレンドについて	技術・調達政策グループ ○田中 救人（技術政策チームリーダー） 小野 友成、鶴飼 貴昭
	土木コンクリート構造物の耐久性向上施策について	技術・調達政策グループ ○山田 武正（上席主任研究員） 渡邊 三男、渡邊 徹
	発注者に求められる技術力と発注者支援方策の具体化検討について（自主研究）	技術・調達政策グループ ○森田 康夫（調達政策チームリーダー）

○発表者

※本プログラムは、土木学会の継続教育（CPD）制度のプログラム認定を受けて実施しました。